

## 「どんな人になるか？」

校長 堀岡 満喜子



「弁護士になりたい」と中学生の頃の私は、考えていました。例えばバラエティードラマ“リーガルハイ”や“99.9”であっても、弁護士の正義が貫かれ、人の心に触れる熱い思いを持ち、法律家としてのスキルによって裁判で戦う姿は圧倒的であこがれたのです。

北陸学院中学校の皆さんは、今、どんな人になりたいと思っていますか？これまでの卒業生が中学生だった頃、よく突撃インタビューをしました。美容師、動物に関する仕事、建築家、レストラン経営者、社長、お菓子屋さん、医者、看護師、幼稚園の先生、地質学者、デザイナー、それから、お母さんになりたいという人もいました。最近では、YouTuberという人もいます。

昔(1861年～)、内村鑑三という人がいました。「少年よ、大志を抱け」という言葉で有名なクラーク博士が創設に関わった札幌農学校を出て、日本に「無教会」というキリスト教の一派をつくった人です。日本史では、不敬事件が有名かもしれませんが、この内村鑑三が青年たちに向けた「一人ひとりが後世に何を遺せるか」という主題の講演が、『後世への最大遺物』という本に収められています。

後の世界に自分は何がのこせるだろうか…そう言って、4つのことを話しました。第一に「お金」です。もし、お金もうけが上手なら、後の世の人たちの助けとなるようにお金をのこしたらよい。第二に「事業」です。お金もうけに才能が必要なように、お金を使って事業を起こすのにも能力が求められます。第三は「思想」です。作家か教師になって思想をのこすのもよい。そして、最後にとっておきの遺物を挙げたのでした。

「それならば最大遺物とは何であるか。私が考えてみますに人間が後世に遺すことのできる、そしてこれは誰にも遺すことのできるころの遺物で、利益ばかりあって害のない遺物がある。それは何であるかならば、勇ましい高尚なる生涯であると思います。」

「勇ましい高尚なる生涯」。これこそが、後世への最大遺物だと言って、一人の女性の言葉を語りました。それは、アメリカのあるキリスト教学校の先生、メリー・ライオンの言葉でした。

「他の人の行くことをさうとところへ行け、

他の人のいやがる事をなせ」

この言葉は、キリスト教信仰に生きたこの人の生き様そのもので力があり、この先生の学校マウント・ホリヨーク・セミナーの土台石となりました。

今、皆さんは何になりたいでしょうか？弁護士もよし、医者もよし、美容師も、お母さんもよしです。何になるとしても、「どんな？」が大事です。どのような弁護士、どのような医者になるか。そこが肝心です。人のきらい仕事を引き受け、人の嫌がることでも必要ならば為す。そんな人になってください。

先のメリー・ライオン先生の学校マウント・ホリヨーク・セミナーは、実は、本校の創立者メリー・ヘッセル先生の母校です。ヘッセル先生もまた、そのミッションの精神によって金沢に本校を建ててくださったのです。「日本のマウント・ホリヨークを建ててほしい」との願いを受け止めて、2019年12月に亡くなったベジャワール会の中村哲医師は、メリー・ライオン先生の先の言葉が「まるでコタツの火種のように、心の奥から自分を暖める力となっている」と書き残しました。一つの生涯が命を懸けて語った言葉の威力です。一人の勇氣ある魂、高尚なる生涯が、後世への最大の遺物です。北陸学院中学校の卒業生が、本校にも受け継がれたこの心に生き、そのかけがえのない生涯をこの世界にのこされますことを！



創設者メリー・ヘッセル



理科

### ★第35回石川地区 中学・高校生徒化学研究発表会 奨励賞

1年 上野 卓也 小藤 寧々 小村 咲七 小山 わかな  
斉藤 蓮旺 坂井 絆愛 福岡 大知 堀井 瑠偉 三田 美波穂

### ★第43回JOCジュニアオリンピックカップ 高等学校・中学校 ブロック水泳競技大会

【女子1m飛板飛込】 **3位** 2年 近澤 杏菜  
【女子3m飛板飛込】 **3位** 2年 近澤 杏菜  
【女子高飛込】 **3位** 2年 近澤 杏菜

水泳

### ★第3回中田周三杯

【女子シンクロ高飛込】 **2位** 2年 近澤 杏菜  
【女子シンクロ飛び板飛込】 **3位** 2年 近澤 杏菜

英語

### ★第36回宮村英語奨励賞 3年 越原 橙

### ★第73回金沢市中学生からのメッセージ 優良賞 2年 荒井 瑞希

### ★第60回国際理解・国際協力のための 全国中学生作文コンテスト

外務大臣賞 2年 平本 慶樹

作文

陸上

### ★2020年度金沢市中学校特別大会

【男子共通110mH】 **優勝!** 3年 越原 橙  
【男子共通走幅跳】 **6位** 3年 越原 橙  
【女子共通100mH】 **3位** 3年 東田 向茉莉  
【女子共通走幅跳】 **2位** 3年 東田 向茉莉

### ★第66回全日本中学生通信陸上競技 石川県大会～アシックスチャレンジカップ～

【男子1年100m】 **2位** 1年 岡田 佳樹  
【女子共通100mH】 **7位** 3年 東田 向茉莉

### ★第51回金沢市中学校 新人陸上競技大会

【男子共通200m】 **7位** 1年 岡田 佳樹  
【1年100m】 **優勝!** 1年 岡田 佳樹

### ★第63回 加賀地区中学校 新人陸上競技大会

【男子1年100m】 **2位** 1年 岡田 佳樹

### ★第10回 U-15 小松市陸上競技選手権大会

【U-15 100m】 **5位** 1年 岡田 佳樹

# ミッション祭

テーマ「感染症と向き合う  
～国際理解教育と今私たちにできること～」  
8月28日(金)



今年のミッション祭は、例年とは異なりステージ発表だけが行われ、私はハンドベルクラブの一員として発表しました。

コロナ禍で、ミッション祭の2日目の一般公開がなくなってしまい、残念な気持ちもありましたが、ステージ発表を行えるだけで感謝の気持ちでいっぱいでした。コロナという状況でハンドベルの学外での演奏がほとんどない中、ミッション祭で発表できたことは、とても嬉しかったです。

今年のテーマは「感染症と向き合う～国際理解教育と今私たちにできること～」でした。医療従事者の方々にとって、今年はとても大変な年だったと思います。その方々に、感謝の気持ちを込めて制作したのは、3色の手をモチーフにして世界中の様々な人に支えられているという意味を込めたものでした。

ミッション祭を通して、たくさんの方々を支えられているということが実感でき、コロナ禍という状況でのミッション祭は、1つのいい経験になりました。

ハンドベルクラブ部長 3年 坂本 憐

総合優勝

赤団



赤団は、笑顔あふれる団でした。一人ひとりが一生懸命に取り組んでいる雰囲気がいっしょもありました。1年生にとっては初めての行事だったので、最初はとても緊張している様子でした。しかし、2・3年生が優しく声をかけてくれたり、全体を盛り上げてくれたりしたので、団長としても、とても安心することができました。

放課後に残って応援練習をしたり、体育の授業で声出しの練習をしたりしている時、ダンスが苦手な子や、大きな声を出すのが苦手な子がいました。そんなときも、2・3年生がしっかりリードして、丁寧に説明やアドバイスをしていました。そして運動会当日、今までのみんなの協力があって、一人ひとりが楽しそうにしていたので良かったです。

団長 3年 米永 拓隼



運動会 9/25 (金)

青団



「コロナだから。」私は団長になりこの言葉を何度も言いました。一見正当な意見に聞こえて、この言葉を使いすぎると言い訳になってしまう。コロナで出来ないダンス、出来ない競技があった。そんな中で自分の意見が通らない人もいる。意見が通らなかった人の話も聞き、納得してもらえよう、理由も説明しなければならない。私の性格には向かない仕事も多く、多忙な1か月でした。いろいろな人達に支えられ、いろいろな人と言い争いをしたけれど、私の人生の中で充実した日々でした。総合優勝は出来なかったけれど、私にとって、とても良い経験となりました。また、一番力を入れたといっても過言ではない応援合戦では、優勝できて良かったです。

団長 3年 濱田 阿弥

富山・石川(能登)  
研修旅行 10/15(木)~16(金)



1 日 目	世界遺産五箇山散策 和紙作り体験 神通川でラフティング ホテルで夕礼拝・クラス活動 宿泊 ロイヤルホテル富山砺波
2 日 目	のどじま水族館見学 加賀屋姉妹館「あえの風」で昼食 花嫁のれん館見学 日本基督教団七尾教会訪問 観光列車「花嫁のれん号」乗車体験 (七尾駅→金沢駅)



今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、念願の沖縄へ行くことはできませんでしたが、北陸というとても身近なところへの研修旅行だったからこそ、地元についてより深く学べ、様々なことを体験することができました。まず1日目の五箇山では、集落を散策し、和紙作り体験をしました。集落の散策では、昔から伝わる伝統的な暮らしを学べ、和紙作りでは、世界にたった一つしかないオリジナルのものが作ることができて、とても楽しかったです。五箇山を堪能した後は、秋の神通川下りをしました。なかなか体験することのない秋のラフティングはとても新鮮なものでした。夜には夕礼拝を守りました。その礼拝は、普段考えることのない、自分の名前の大切さを考えさせられる貴重な時間になりました。2日目は、のどじま水族館でいろんな海の動物と触れ合った後、「あえの風」という有名な旅館で昼食をいただくことができました。そこでの食事は少し緊張した時間でしたが、どの料理もすごくおいしく、今までで一番豪華な昼食になり、とても印象に残りました。昼食の後は花嫁のれん館に行き、明治から現在にかけての、花嫁のれんを見ることができました。明治と現在のれんを比べてみたり、伝統的

な結婚式を体験したり、いろいろなことを学べた時間になりました。そして待ちに待った花嫁のれん号での金沢への帰路。石川県に住んでいるとあまり乗ることのない、そしてなかなか乗れない花嫁のれん号に、とても興奮しました。花嫁のれん号には金沢で有名な金箔がたくさん使用されていて、とても美しかったです。今回の修学旅行は、たくさんの非日常体験をし、たくさんのことを学べた修学旅行でした。この修学旅行は、きっと私だけでなく、3年生のみんなにとって一生の思い出に残る、そんな修学旅行になったと思います。

3年 前波 美咲

演劇  
コンクール



11/2(月)

中学校で毎年開催している演劇コンクールは、特に盛り上がりを見せる行事です。

今年の優秀賞は沖縄を舞台にした「ゆっかぬひい」を演じた3年生。戦後と戦時中の2つの時代を織り交ぜた複雑なストーリーでしたが、迫真の演技で観客を魅了しました。

INTERVIEW

1年  
村井 優海

私は小学四年生の頃からミュージカル劇団に参加していて、舞台上で演じることがとても好きです。北陸学院中学の演劇コンクールの練習は、基本的に先生が練習を進めるのではなく、生徒が自分たちで話し合っ

て決めてたり進めたりしていくので、初めはとても大変でした。特に、チャペルのステージでの練習は、音響係や一番後ろにいる照明係に声が聞こえるよう、ホールいっぱい

に響くようにセリフを言わないといけないので、苦戦しました。でも本番が近づくにつれ、みんな声が出るようになったり、演技や舞台転換をいろいろ工夫したりと、それぞれが集中していきま

1年「My friend forever」



2年「Annie」



3年「ゆっかぬひい」

最優秀賞



アメリカオレゴン州在住の3名の方と英語を使って縦割り班で交流!  
A班 Mrs. Sarah Fillmore B班 Mrs. Jenny Schmaltz  
C班 Mr. Steven Schmaltz

# Let's speak English!

2月2日



私たち2年生は最初、1年生と一緒に、この学校や金沢についての紹介をしました。私は金沢21世紀美術館についての発表や、他の人の原稿作りの手助け、全体の調整を行いました。相手の方とのコミュニケーションも取れかなりうまくいったと感じました。

その後にあったフリートークの時間では、質問などをして相手の方と会話をしました。話してみると、英語を話すときはかなり焦るということに気がきました。自分の言いたいことを頭の中で英訳しつつ、相手の話を聞いて理解することはとても難しかったです。その上、辞書を引く時間はないので、頭の中にあ

る単語や表現のみで会話を続けていかなくはなりません。そのためには英単語や文法、表現を覚えるだけでなく、使いこなせるレベルまで高める必要があると感じました。また、今回の行事では多くのことを感じたのと同時に、楽しんでコミュニケーションがとれたのでよかったです。

この学校では、英単語テストをはじめとする、英語力を伸ばしていくツールがたくさんあります。それらを活用して、英語を「話す・聞く」力を育んでいきたいです。そして何より英語を楽しんでいきたいです。

2年 真柄 純

## 宗教委員会活動

宗教委員会では、宗教委員だけでなく中学校全体が協力をして宗教行事を盛り上げています。

6月には花の日礼拝が行われます。それぞれの生徒が花を持ち寄り、神様からの自然の恵みに感謝しながら礼拝を守ります。

10月には収穫感謝礼拝を守ります。例年はフルーツを持ち寄っていましたが、今年は新型コロナウイルスの影響によりフルーツではなく、各家庭から缶詰やレトルト食品などを持ち寄り、神様からの恵みに感謝しました。集めた食品は、いしかわフードバンク・ネット、梅光児童園、こだつのクローバーなどの施設に届けられました。

12月には中学クリスマスが行われます。クリスマスの前には、クリスマスツリー点灯式、リースやスタンドグラスづくりを行います。中学校クリスマスでは、中学生だけでクリスマスの礼拝を守り、各学年や各部による発表を行います。それぞれの賜物をいかして学校全体でクリスマスを待ち望むときを持ちます。

今年は例年とは違い、いろいろな行事が中止となりました。しかし、神様への感謝の気持ちを忘れずに、宗教委員会は活動を続けています。

2年 米田 莉音

